

東光祿とあて務事をしり比屋を其功と
貴—安倍氏を所へて同姓と—くもとを
け事安倍部傳の記とて俗説辨よ要—其
文大概末に記を

一秋田彩田

二万石依竹を破守成領之秋田松重相傳曰
秋田彩田とて二万石定譜の分地あり多城
の屋敷といふとあり

一山東屋

一力六子石依竹山城及是なり
正年子 石加増 本家

吾家の東に吾屋敷をあらぬよ古俗山東屋
といふに衆のそ一なり

一古記王社

寺内村よりあり日本逸史二十八巻天長
七年の条下に記王堂舎とありハ是なり
—多神に座瓊速日燿速日經津主武瓊瓊
杵なりと神祇管領の所屬帳にありとを
神代巻に曰時有天石室所住神稜威雄走
神之子瓊速日神子燿速日神之子武瓊
杵神此神進曰堂唯經津主神獨丈夫而